

令和6年度 事務事業評価シート（1）

[令和5年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会				事業番号	011-123
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
			有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
			有・無	指標名	—		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	無	現状値	—	目標値	—
			有・無	ゴール	ゴール(10人)や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援		
3	事業開始年度		有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
			関連計画		第4次障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画・第2期堺市障害児福祉計画		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（略称：障害者総合支援法）				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市内在住、在勤又は在学の障害者（児）、年齢制限なし 対象数 約73,000 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	障害者の健康の維持増進を図るとともに、多くの人と一緒に楽しみ、障害のない人を含めた市民の交流の場として実施（開催）している。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	開催日 令和5年11月3日（金・祝） 開催場所 大泉緑地球技広場 開催内容 50m走、糸巻競争、ボール運び、フラフープ玉入れ、グラウンドゴルフ、ウォークラリー、フライングディスク、大玉ころがし、体力チェック、レクリエーションイベント（和太鼓、よさこいソーラン） 参加者数 1,416名
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会実行委員会
10	公民連携・協働事業	令和4年度より新たに生命保険会社からの協賛があり、令和5年度も引き続き大会運営に協力いただいた。

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	障害者スポーツ・レクリエーションの普及・振興						
	当該目標を設定した理由	当事業の開催により障害のある人の社会参加が促進されたほか、当日多くの障害者スポーツ競技やレクリエーションに参加することでスポーツ等を始めるきっかけにもすることができるため					
目標に対する実績		事業当日は障害のある方が多くの競技・レクリエーションに参加している					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	目標		
	参加人数	人	目標値	1,400	令和5年度	令和6年度	
			実績値	1,102	1,416	1,400	
			達成率	79%	101%		
当該指標を選定した理由		障害者の社会参加を促進するため、参加者数を目標とする					
目標値の設定根拠・算出方法		前回参加者数と同数を維持する（令和6年度の開催日が、本来事業所が開所していない日曜日であるため）					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会	事業番号	011-123
-------	----------------------	------	---------

III. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

13 財 源 内 訳	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費 (a)	0	2,304	3,478	3,478	3,478
国支出金				0		0
府支出金				0		0
市債				0		0
その他 (地域福祉推進基金、雑入)	0	2,304	3,478	3,478	3,478	3,478
受益者負担金(使用料、手数料等)				0		0
一般財源	0	0	0	0		0
14 人件費 (b)	3,280	3,280	3,240	3,240	3,240	3,240
15 年間経費(c)=(a)+(b)	3,280	5,584	6,718	6,718	6,718	6,718

事業費の内訳

(単位：千円)

16 事 業 費 内 訳	項目	年度		事業費	うち 一般財源	項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R5	決算	56	0		R5	決算		
		R6	予算	56	0		R6	予算		
医師報酬										
実行委員会負担金	R5 決算	3,422	0			R5 決算				
	R6 予算	3,422	0			R6 予算				
	R5 決算					R5 決算				
	R6 予算					R6 予算				
	R5 決算					R5 決算				
	R6 予算					R6 予算				
	R5 決算					R5 決算				
	R6 予算					R6 予算				

IV. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区分	単位	令和4年度	令和5年度
			1,102	1,416
①	参加人数	人	5,584	6,718
②	上記①にかかる年間経費	千円		
③	単位当たり経費 ((2)÷(1)×1,000円)	円/単位	5,067	4,744

備考（算出についての説明等）

V. 評価

費用対効果に係る所見

18	長年に渡り、当該大会を開催し、参加者にとって貴重なスポーツ・レクリエーションの機会として定着しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度および令和3年度は大会が中止、令和4年度は午前中ののみの開催とした。
	令和5年度は4年ぶりの1日開催とし過去最多の参加人数であった。障害者や障害者団体などからの大会への大きなニーズの反映であると考える。民間企業からの協賛金の提供及び大会運営への参加、協力団体などからのボランティアの参加は、障害のある人と障害のない人との間の協調精神に大きく寄与している。本事業への経費は事務経費や保険料、警備費用や医師報酬などに使われており、大会運営に必要不可欠なものである。今後も協賛企業を確保しながら参加者数の増加を図り、費用対効果を上げている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は長年にわたり障害者のスポーツ・レクリエーション活動を通じて社会参加、交流を深めることを目的に継続して実施している。実施については、障害当事者団体等により実行委員会を組織し、実行委員会による運営をしていることによせて競技の際には、多くのボランティアに協力いただいている。また、令和4年度より民間企業からの協賛金の提供及び大会運営への参加がある。
	例年参加者数も1,000人を超えており、一定水準のニーズを保ちながら適切に実施されている。今後もこれらのニーズに応え、障害者の社会参加、交流を促していくためには現状を維持した大会の開催が求められていると考えられる。本大会にて、障害者のスポーツおよびレクリエーションを行う場を提供するほか、企業やボランティアが参加するなど障害のない人を含めた市民との交流を行うことは、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与している。